

5 生徒指導の重点

学習指導要領及び生徒指導提要の趣旨や内容を十分に踏まえた積極的な生徒指導を推進する。

【学習指導要領及び生徒指導提要の基本的な考え方】

生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことであり、児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指している。

そのために、学校では、日頃から学級経営の充実や授業の改善などを図ることにより、教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、児童生徒理解を深め、児童生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう指導することが大切である。

1 学校全体で取り組む生徒指導の推進

指導の方針や基準を明確にし、教職員の共通認識のもと学校の教育活動全体を通じて積極的な生徒指導を展開する。

2 いじめ・不登校・暴力行為などの未然防止と早期発見・早期対応の徹底

いじめ・不登校・暴力行為の減少に向け、未然防止と早期発見・早期対応に努める。特に、いじめ・暴力行為に対しては毅然とした対応とともに、適切かつ迅速な初期対応に努める。

3 ネットトラブルの未然防止に向けた取組の推進

児童生徒に対する情報モラル教育や保護者への啓発の推進、及びネットトラブルに関する教職員の指導力向上のための研修の充実を図る。

4 学校と家庭・地域・関係機関との連携や学校種間の連携強化

生徒指導の方針・基準を家庭・地域に周知し理解を求め、児童生徒の健全な発達を促すための連携を強化するとともに、問題行動等への対応については関係機関との連携や学校種間における連携を強化する。

【本年度の重点】

- ① いじめ防止基本方針に基づき、子どもが発する小さなサインを見逃さず、いじめ対応アドバイザーの活用などにより、「いじめを見逃さない・風通しのよい学校づくり」を推進する。
- ② 小中連携など学校種間連携を進め児童生徒理解を深めるとともに、「居場所づくり」と「絆づくり」を中心に「魅力ある学校づくり」を進め、不登校の未然防止を図る。
- ③ 情報の信憑性や価値を正確に評価し、メディアを適切に活用する「メディアリテラシー教育」を保護者と連携し組織的に推進する。